



市民クラブ
のぐち
野口 達也
たじや
QRコード

ライドシェア解禁に対する見解

問 都市部におけるタクシー運転手の人材不足等を背景に国会においてライドシェア（一般のドライバーが自家用車を使って有償で乗客を運ぶサービス）の合法化に向けた動きがあるが、本市で展開されればタクシー事業や地域公共交通が存続の危機に陥る可能性があるが、本市の考えを伺いたい。

答 本市においては、現在、タクシーのサービス供給が極端に逼迫している状況ではなく、仮にライドシェアが解禁された場合、市民の移動手段の選択肢が増える一方で、既存の交通事業者への影響も考えられ、さらにはドア・ツー・ドアの移送サービス自体の存続にも影響を及ぼし、かえって利用者にとって不便となる可能性も考えられる。



したがって、今後も国の動向を注視しつつ、慎重に対応していきたい。



市民クラブ
やまた
山谷 よしひろ
QRコード

市独自の児童相談所の設置

問 現在、県が本市と佐世保市に児童相談所を設置しているが、市独自に設置する考えはないか。

答 平成16年の児童福祉法改正により中核市においても児童相談所を設置できるが、設置には、児童虐待に対応できる専門的人材の育成・確保や財源の確保等の大きな課題があるところである。

本市では、児童虐待等の総合的な対応を行う「子ども家庭総合支援拠点」と、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」を一体的な組織として改編し、誰一人見逃さない相談支援体制と迅速かつ専門的に対応できる体制の充実を図り、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応に努めている。

さらに、令和6年4月設置予定の「子ども家庭センター」においても、児童相談所とより一層の連携を深めつつ、児童虐待防止対策にしっかりと取り組んでいきたい。

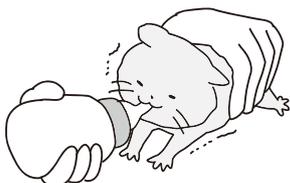



新出島クラブ
あべ
阿部のぞみ
QRコード

動物愛護管理センターにおけるミルクボランティアの取組

問 犬猫殺処分ゼロを目指すためには、殺処分が多い離乳前の子猫を自宅等で一時的に預かり、離乳するまでの間、飼育し、譲渡につなげるミルクボランティアの取組が有効であると考えが、本市において実施する考えはないか伺いたい。

答 ミルクボランティアについては、実施に向けて検討を進めている段階であり、活動を行う上で必要な粉ミルクや哺乳瓶等の消耗品費をはじめ、ウイルス検査などの医療費等の経費について、ふるさと納税制度による寄附金を充てることができないか、関係課と協議を重ねているところである。



来年度の実施に向け、動物愛護団体とも協議を重ねながら、積極的に取り組んでいきたい。



自民創生
やまさき
山崎 猛
たじ
QRコード

有害鳥獣対策

問 本市における有害鳥獣被害の状況と対策の取組状況を伺いたい。

答 本市では、有害鳥獣の被害相談が年間千件以上あり、その7割程度が生活環境被害関連となっている。対策として、令和4年度には、ワイヤーメッシュ柵の自治会等への貸与及び一部設置支援を行ったほか、有害鳥獣対策協議会及び地域の捕獲隊により4,340頭のイノシシを捕獲した。

また、新たな対策として、令和2年度から、ビワ産地のカラス等を音や光で追い払う機器等の導入支援を実施しているほか、令和4年度には、長崎市提案型協働事業を活用し、ドローンによるカラスの追い払いや捕獲のためのおびき寄せの有効性の検証を行った。

今後も関係機関及び自治会などと連携し、被害の低減に取り組むたい。

